

未来を創る子どもたち

—つながり合い・学び合い・千代田愛—

千代田中学校 校長だより
令和6年12月5日

発行責任者
校長 坂本 由美

第6号



ルールを守り、安心できる場所、信頼される人に

社会には、ルールがあります。学校も小さな社会でありルールがあります。また、ルールには、それぞれ理由があります。学校では、

- 「学ぶこと」に集中できるように、多くの誘惑から中学生を守るため
- 命を守るため
- 学校がそこにいるみんなにとって安心できる居場所であるため

など、さまざまな理由があり、ルールによって一つひとつ理由も違います。本校のほとんどのルールが他の学校と同じものですが、本校の先輩たちが生徒会として動いて作った本校だけのルール（体操服登校など）もあります。

社会や学校、クラス、クラブなど、集団で過ごす場には、それぞれルールがあります。自分にとっては嫌なルールでも、みんなで守ることでその居場所が安心できる場となります。スポーツに例えると「全員がルールを守ることでゲームが成り立つ」「違反する人が一人でもいると安心してゲームができない」ということと同じ意味です。

昔、違反ばかりしていたAがいて、そのAに声をかけた仲間Bがいました。BはAに、「かっこつけたら一緒に安心しておられへん、化粧やめて！違反の制服もやめて！つっぱってたら話しかけるのも怖いと思う人おるからやめて。」と声をかけました。少し後の学級委員選挙にAは立候補しましたが、選ばれませんでした。Bは、「みんながAのこと『信頼できへん』って言うてる…Aの今の姿はクラスの居心地を悪くしてる！」と伝えました。その時、初めてAが自分の気持ちをBに伝えました。「授業も全然わからんし、高校も行かれへんし、家ではお母さんが自分の思い通りにならへんかったら怒るし、なんにもおもしろくない…」と泣きながら伝えました。その後、Aをまわりの仲間が支え、Aも仲間のやさしさに応え、つっぱるのをやめ、違反もなくなり、班の仲間に勉強を教えてもらいながら半年間頑張り、高校に進学しました。

上記の話全校集会でしました。集会後、スカートが短い人に「もうちょっと長い方がいいんちゃう？」と声をかける人や、「先生！これでちゃんとできてる？」とルールを守っている姿を見せに來たりする人が増えました。すぐに応えて、声をかけたり、反省したりできる子どもたちに感動しました。

自分の姿を振り返り、さらに安心・信頼でつながる千代中になればと思います。



ちよっちよトピックス



■2大行事終了■

体育大会と千代田ミュージックフェスティバルが無事に終わりました。たくさんの保護者のみなさま、そして、地域のみなさまに参観いただきました。ミュージックフェスティバルには、西野河内長野市長、そして、松本教育長も来校してくださって、3年生の合唱を聞いていただき、各クラスの素敵なハーモニーに、お褒めの言葉をいただきました。2つの行事を通して、一人ひとりが大きく成長しました。

※写真などは、PTA 新聞に掲載予定です。

■PTA ソフトドリンク店、千代中バザー



ー千代田バラエティーフェスター

10月27日(日)千代田中学校校区健全育成会主催バラエティーフェスタが今年は楠小で開催されました。毎年のことですが、吹奏楽部が舞台上で1番に演奏させていただきました。

PTA 役員は3年連続でソフトドリンク店を出店しました。すべてのドリンクを100円で販売し、売り上げは、ほとんどありませんでしたが、天候にもめぐまれ、昼過ぎにはすべて売り切れてしまいました。(右写真)



本校3年生の生徒会役員と社会科発展学習有志、そして、教員が手伝ったバザーは、朝から人気でしたが、売れ残りも出そうなので、お昼からは半額としたものがたくさんありました。(左写真)バザーの商品にご協力いただいたたくさんの方々、そして、

購入してくださった方々のおかげで、49,760円の利益がありました。このお金の使い道は、地域と自分たちのための使いみちを3年生の参加者で考えてもらう予定です。

■あいあい活動■ - 前期生徒会役員ありがとう！ 後期生徒会役員、引き継いで千代中をよろしく！ -



10月で前期生徒会役員の任期が終了し、11月から後期生徒会役員が活躍しています。ちょうど引き継ぎの10月30日（水）、千代田駅でのあいあい活動を実施しました。前期後期役員が一緒に、地域の方に元気にあいさつをしました。

■お母さんと赤ちゃん - 3年生 - ■

3年生家庭科の授業で幼児とのふれあい体験をしました。地域の赤ちゃんとそのお母さんが学校に出向いてくださいました。初めて小さな赤ちゃんに触れる子どもたちもたくさんいて、とても穏やかなまなざしで赤ちゃんに触れ合っている姿を見て、温かい気持ちになりました。また、お母さんからは、育児の大変さや楽しさも聞かせていただきました。



■落語を楽しむ - 2年生 - ■



11月7日、2年生は文化庁文化芸術鑑賞・体験推進事業で、プロの落語を聞き、また落語の体験もしました。事前に練習してみんなの前で披露してくれた人はとても上手に落語を披露してくれました。



■職場体験 - 2年生 - ■

11月14日・15日、2年生は職場体験に行きました。約50か所の事業所にご協力をいただいて、実施させていただきました。右写真はケーキを作らせていただいているところです。



右の写真は旅館の料理の作り方を教えていただいています。右下は、お店の商品を並べているところです。2日間を終えた子どもたちは、少し大人になって帰ってきたように感じました。地域でご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



■土曜参観■

11月16日(土)、2, 3, 4時間目は保護者のみなさまに授業を参観していただきました。たくさんの保護者さまに来ていただき、子どもたちも喜んでおりました。最近の中学生は「見に来ないで」ではなく「見に来てな!」という子どもが増えたようです(^ ^)



また、今回は、PTA役員さんのおかげで、参観後のアンケートもたくさん集まりました。ほとんどの方が、「授業の様子を見てほっとした」「楽しそうに授業を受けていた」など好評でしたが、「授業にもっと工夫を!」という方が1名おられました。今後も、よりわかりやすい授業のために教員研修等を実施していきます。

■一生懸命はかっこいい! -表現倶楽部うどい-

同じく土曜参観の午後、千代田中学校区PTA合同教育講演会として、大阪狭山市公民館事業中高中生中心の「表現倶楽部うどい」さんに、1時間公演していただきました。迫力ある一糸乱れぬ踊り、生バンドの演奏と歌、そして自分が好き!仲間が好き!



自分らしさを大切に!というお話に、会場全員が魅了されました。



感想文の一部抜粋

- どんな演技があるのかなと思っていたが、いざ始まったら、すごい迫力でそれが最初から最後まで続いてすごかった。
- 自分も人の前に立つのは苦手で克服したいと思っている。人の役に立ちたいとも思うけど、なかなか克服できなかつたりする。今回のうどいを見て、何事も一生懸命頑張りたいと思った。
- 部活のキャプテンをしていたが、初めの頃、みんなに注意しても聞いてくれないし、声を出しても返ってこないことがありました。そのうち、一部の人や3年のみんなが協力してくれて、まとまることができました。仲間の大切さをそのおかげで知ることができたので、他にもいろいろなことを通してその大切さに気づくことができると思えたので、いろんなことに挑戦していきたい。